

第 13 回社員総会議事録

日 時：2025 年 6 月 28 日(土)13:00～15:00

場 所：一般社団法人 東京都歯科技工士会館

住 所：〒170-0004 東京都豊島区北大塚 2-2-10 ヴィップ大塚香川ビル 4 階

出席者：[代議員] 鈴木隆夫代議員、中村悠介代議員、猪野雅慎代議員、池田強代議員、長瀬勝正代議員、富田博代議員、長津弘志代議員、井上囲大留代議員、谷本慎一代議員、頂和人代議員、岸芳明代議員、浜田泰弘代議員、米澤修三代議員、都筑康行代議員、菊竹清玄代議員、佐藤文裕代議員、原晃代議員、吉田茂夫代議員

[欠席代議員]長浜謙一代議員

[理事] 石川功和会長、西澤隆広副会長、宇山慶昌副会長、小笠原明副会長、狩野真澄専務理事、松尾博子常務理事、妹島利行常務理事、横内正常務理事、千原喜久雄理事

[監事] 小玉信彦監事

議決権のある代議員総数 19 名

総代議員の議決権の数 19 個

出席代議員数（議決権行使書・委任状による者を含む） 18 名

この議決権の総数 18 個

議長：池田強

副議長：鈴木隆夫

議事録作成者：横内正

【議事内容】

1. 開会宣言

「定款第 17 条第 1 項及び第 18 条第 1 項、第 2 項による総社員の議決権を有する社員 17 名、議決権行使書 1 名、計 18 名出席しておりますので、過半数を有する社員が出席しております。したがって第 13 回社員総会が成立したことをご報告いたします。」と石川会長から発せられた。

2. 議長副議長の選出 議事運営委員

正副議長の選出を議場に諮る。会長一任となり、議長に北部ブロック北歯科技工士会池田強代議員、副議長に東部ブロック江東歯科技工士会鈴木隆夫代議員が指名され、全会一致で承認、任命された。

3. 氏名点呼 鈴木隆夫副議長

氏名点呼を行い社員 19 名中 17 名、議決権行使書 1 名、計 18 名出席を確認した。

4. 議事録署名人の選出 池田強議長

議事録署名人の選出を議場に諮る。議長一任となり中央第一ブロック銀座歯科技工士会都築康行代議員、西部・多摩ブロック中野歯科技工士会長津弘志代議員の両名を指名、全会一致をもって承認され両名とも受諾した。

5. 物故会員に対する黙祷 池田強議長

2024年6月30日から2025年6月28日までの物故会員へ冥福を祈り黙祷を捧げた。

新宿歯科技工士会 大島 良一（おおしま りょういち）2024年12月16日ご逝去

台東歯科技工士会 生川 寛（おいかわ ひろし）2024年12月27日ご逝去

都技事務長 与那嶺 勝人（よなみね かつひと）2024年12月27日ご逝去

北歯科技工士会 佐々木 美香（ささき みか）2025年3月18日ご逝去

6. 会長挨拶 石川功和会長

会長石川功和より所信表明の挨拶があった。

7. 議事進行 池田強議長

議長からの発言があり「第13回社員総会は代議員出席者17名、議決権行使書1名、総数18名出席です」（議長、副議長の票数は省く為総評数は16）「動議提出締め切り時間は第1号議案まで」と説明があった。

議長は議案審議開始を宣言し理事に第1号議案の上程審議を求めた。

第1号議案 2024年度事業経過報告の承認を求める件

狩野専務理事から2024年度事業経過経過について会務報告総括、総務報告、各事業の事業報告、組織状況表の報告があり議場に承認を求めた。

代議員からの質問はなく議長が採決に入る旨を議場に告げた。

賛成票14票、賛成多数で承認可決されたと議長から宣言があった。

第2号議案 2024年度会計収入支出決算の承認を求める件

（1）2024年度会計収入支出決算の承認を求める件

横内常務理事から2024年度会計収入支出決算について貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記、財産目録、附属明細書、慶弔見舞の報告があった。

続いて議長が監査報告を求めた。

（2）監査報告

小玉監事から監査報告があった。

2025年6月12日都技事務所において、一般社団法人東京都歯科技工士会の定款第23条の規定に基づき、2024年4月1日から2025年3月31日までの事業年度の理事の職務執行を監査いたしました。監事は理事会に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、業務及び財産の状況を調査いたしました。事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。また、理事の職務の執行に関する不正の行為及び法令ならびに定款に違反する重大事実は認められません。よって公益目的支出計画実施報告書（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその付属明細書は法人の財産及び損益の状況を適正示しているものと認めますと監査報告があった。

議長が第2号議案及び監査報告に関する質疑応答を議場に求めた。

中央第二ブロック文京歯科技工士会の原晃代議員から質問があった。

「2024 年度の地域会費が手違いで振り込まれていない金額があった、その金額についてはすでに今年度(2025 年)振り込まれたので解決済みであります、その項目は社員総会議案書のどの部分に提示してあるのかご回答いただきたい。」

横内常務理事からの答弁があった。

「社員総会議案書の財産目録の所に掲載してあります。会計事務所の方で間違えて掲載していて収支については 2025 年度にて修正しますと答弁があった。」

中央第二ブロック文京歯科技工士会の原晃代議員から質問があった。

「社員総会議案書の正味財産増減計算書の表の項目位置を変えられないのか。」

宇山副会長からの答弁があった。

「データベースでやっていて会計ソフトが現状の書式で決まっているので変更するのは難しいと答弁があった。」

西部・多摩ブロック中野歯科技工士会の長津弘志代議員から正味財産増減計算書について質問があった。

「1.経常費用 事業費の中の諸謝金の予算と決算の大きな差額について」

「2.経常費用 事業費の中の役員報酬の予算と決算の大きな差額について」

「3.経常費用 管理費の中の役員報酬の予算と決算の差額と役員報酬を事業費と管理費の2つに分割して計上する理由」

「4.経常費用 管理費の中の職員報酬の予算と決算の差額」

「5.経常費用 管理費の中の諸謝金の予算と決算の差額」

横内常務理事からの答弁があった。

「質問 1 と質問 5 の諸謝金の件については、前事務局長と以前の申告書類作成担当者の事務作業過怠により法人がみなし解散の状態にあり、それに伴い法人税申告書類も不受理の状態であった。そのため通常の運営ではかからない法人継続の登記費用・申告書類作成費用がかかってしまったと答弁があった。」

宇山副会長からの答弁があった。

「質問 2 と質問 3 の役員報酬と事業費と管理費を 2 つに分割する理由の件については、役員報酬予算額を間違えて掲載してしまったと答弁があった。また、分割理由については理事も事業と管理に関与しなければいけないと決まりがあり、法人会計においては事業費と管理費に分けて提示しないといけないと義務づけられているためと答弁があった。」

横内常務理事からの答弁があった。

「質問 4 の職員給料手当の件については業務内容が異なるため、前事務局長とアルバイトで配賦割合に差異を付けていた、前事務局長が退職後に再任用されたことで金額が減った

ことが予算額と決算額の差が大きくなったと答弁があった。」

多摩・西部ブロック中野歯科技工士会の長津弘志代議員から質問があった。

「昨年のみなし法人収得と係る費用を会長が支払うと多摩・西部ブロックの前代議員の方から聞いたのですが、会費からはらわれていてその説明はしたのかと質問があった。」

石川会長から答弁があった。

「代表者の責任なので反則金に関しては石川会長個人が支払ったと答弁があった。」

その後代議員からの質問はなく議長が採決に入る旨議場に告げた。

賛成票 16 票、賛成多数で承認可決されたと議長から宣言があった。

第 3 号議案 役員選挙結果の承認を求める件

鈴木哲也選挙管理委員長から 2025 年 5 月 16 日(金)午後 7 時立候補届締め切り後、都技会館において第 3 回選挙管理委員会を開催致しました。立候補者から提出された書類、立候補届、推薦書を選挙管理委員会にて書類を精査し、不備書類の確認、記載事項の記入漏れ等すべて確認致しました。書類すべて不備はないと選挙管理委員会で判断いたしましたので受理致しました。また立候補者の数が定款第 20 条第 1 項の理事、監事数内におさまり役員選出に係る規定第 23 条第 3 項の候補者が定数を超えない選挙区の候補者は、無投票当選とする。と決められているため投票は行わず今回の役員選挙は無投票当選となり、理事、監事のすべて立候補した方が当選したことを報告し上程した。

代議員からの質問はなく議長が採決に入る旨議場に告げた。

賛成票 16 票、賛成多数で承認可決されたと議長から宣言があった。

* 理事

東京都港区赤坂 6-10-33-210

理事 石川 功和

東京都足立区大川町 30-11

理事 西澤 隆廣

埼玉県朝霞市膝折町 2-11-68

理事 宇山 慶昌

東京都練馬区関町北 2-9-20

理事 小笠原 明

東京都八王子市北野町 514-11

理事 狩野 眞澄

東京都文京区千駄木 2-26-7-502

理事 松尾 博子

東京都大田区蒲田 1-4-20-205

理事 横内 正

東京都世田谷区奥沢 2-4-6

理事 妹島 利行

東京都清瀬市梅園 3-22-15

理事 千肢 喜久雄

東京都葛飾区西水元 3-33-14

理事 大倉 雅夫

千葉県船橋市三山 8-8-4

理事 三輪 典久

***監事**

東京都足立区東綾瀬 1-17-10-703

監事 小玉 信彦

東京都世田谷区桜 2-1-13

監事 三國 努

以上決定した。

8. 協議事項

北部ブロックから退会防止のための提案

「90歳以上の会員で且つ50年以上連続で在籍された方をゴールド会員(仮称)等の名称で該当者が希望すれば、会費は0とし福祉共済の対象から外れますが、会報等のお知らせは定期的に発送します。希望されない会員は今まで通り通常の会員で在籍していただきます。長年に渡り会員であることは歯科技工士会の歴史に精通しておられ、技工士会の宝だと思います。高齢を理由に退会されるのは何といたっても惜しいもので、残っていただければ会員数は増えないが減らなくてすむのではと思います提案致しました。」

狩野専務からの答弁があった。

「会免の方の日技、都技の会費を0円にすることは出来ない。年間5000円、連盟費年間1000円はかかると答弁があった。またこの件については今後の理事会にて話し合い検討していきたいと答弁があった。

西部・多摩ブロックから要望事項があった。

「現在の会員数は448名で会員数が減少し続けています、このままでは予算が厳しくなる事は明白です。西部ブロックでは事業の見直し、役員の削減、会員数を増やす案、理事や役員に若手を起用するなどの要望を致します。

狩野専務からの答弁があった。

「理事役員に関して、今回は新理事に2名の若手の方に執行部に入っていただきましたが、現状役員をしてくれる若い方がいない状況です。事業見直し、会員数を増やす案などについては地域の会長様や会員様と話し合っていていきたいと答弁があった。

9. 報告事項

(1) 2025 年度事業計画

2025 年度の各事業部の事業計画が総会資料書面通りと報告があった。

(2) 2025 年度一般会計収支予算書

2025 年度予算書が総会資料書面通りと報告があった。

(3) 2025 年度表彰委員、各種部員一覧表の件

2025 年度の各種部員が総会資料書面通りと報告があった。

(4) 選挙管理委員会 2025 年 6 月 28 日(土)選挙事務業務終了後解散の件

2024 年度選挙管理委員会は 2025 年 6 月 28 日(土)の第 13 回社員総会終了後に解散すると報告があった。

10. 当選証書授与

鈴木哲也選挙管理委員長より役員に当選した理事 11 名、監事 2 名に当選証書を授与された。

11. 感謝状授与

石川会長から中野歯科技工士会の横山豊前会長、新宿歯科技工士会の関根満前会長に感謝状が授与された。

12. その他

13. 閉会

池田強議長から第 13 回社員総会閉会の宣言が発せられ社員総会が終了した。

以上をもって本日の議事を終了したので、議長は閉会を宣言した。

(上記の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び議事録署名人がここに記名押印する。)

2025 年（令和 7 年）6 月 28 日

一般社団法人 東京都歯科技工士会 第 13 回社員総会

議長 池田 強 (印)

議事録署名人 都筑康行 (印)

同 長津弘志 (印)

第4回理事会議事録

日 時：2025 年 6 月 28 日(土)15:00～15:10

場 所：一般社団法人 東京都歯科技工士会館 事務室

住 所：〒170-0004 東京都豊島区北大塚 2-2-10 ヴィッパ大塚香川ビル 4 階

出席者：理事 石川功和、西澤隆廣、宇山慶昌、小笠原明、狩野眞澄、松尾博子、横内正、
妹島利行、千原喜久雄、大倉雅夫、三輪典久

監事 小玉信彦

議事録作成者：横内正

【議事内容】

第 13 回社員総会終了後理事会が開催された。

小玉監事司会進行のもと代表理事を決定する決議を理事会に諮る。

理事の中から石川功和氏が代表理事に立候補する挙手があった。理事協議のもと異議なし
全会一致で承認された。その後会長挨拶があり、これからの会の運営について発言があっ
た。また、副会長・専務理事・常務理事等の役職人選は7月の理事会時に決定したいと代
表理事からの申し合わせがあった。

監事所見で小玉監事もこの結果を承認する旨があった。

上記議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名
人である出席理事及び出席監事が記名押印する。

議事録署名人：代表理事 石川功和 ⑩、

西澤隆廣 ⑩、 宇山慶昌 ⑩、 小笠原明 ⑩、

狩野眞澄 ⑩、 松尾博子 ⑩、

横内正 ⑩、 妹島利行 ⑩、 千原喜久雄 ⑩、

大倉雅夫 ⑩、 三輪典久 ⑩

監事 小玉信彦 ⑩